

## W-LINEシステム仕様書

---

W - L I N E シ リ ー ズ

---

品 名 出入管理用システム

---

型 式 W - L I N E

---

\*\*\* 目 次 \*\*\*

1 . 概略.....	2
2 . 機器構成.....	2
2 - 1 . 機器構成.....	2
2 - 2 . 管理・接続台数.....	5
3 . 出入管理システム.....	6
3 - 1 . 連動機能.....	6
3 - 2 . 機能.....	8
4 . 将来対応.....	12
4 - 1 . 連動機能.....	12
4 - 2 . 管理機能.....	12
5 . 外部機器との連動.....	13
6 . 個人コードレイアウト.....	14
7 . 動作環境.....	16
7 - 1 . 管理用サーバ.....	16
7 - 2 . 管理用パソコン.....	17
7 - 3 . 録画サーバ.....	17
8 . 系統図.....	18
8 - 1 . LAN系統図.....	18
9 . 改定履歴.....	19

## 1. 概略

本書は、W-LINEとNW-LINEにて構成されるシステム構成とソフトのデータ管理を示したものである。W-LINEをリアルタイムで状態の監視、履歴の管理、利用者の登録を行い、管理運用面をサポートする。NW-LINEをリアルタイムで状態の監視と履歴の管理を行うことが可能である。

## 2. 機器構成

### 2-1. 機器構成

#### (1) 標準構成

1) 制御装置	(下記装置最大接続数の合計) 120台
a. 出入管理装置	WA-01/02
	WA-08/16
b. エレベータ制御盤	WEL-35
c. センサ監視盤	WSENS-06
	WSENS-24
2) カードリーダー	
a. 磁気式カードリーダー	VR-10A
b. 非接触式MIFARE®対応カードリーダー	VM-10A
	WM-10
	WM-20(T-K、-K)
c. 非接触式FeliCa対応カードリーダー	VL-10A
	WL-ES01
	WL-10
	WL-20(T-K、-K)
	WL-30
3) フラッパーゲート(高見沢製)	TAG-5000/7000/9000
4) 電気錠	
5) 管理用サーバ	1台
6) 管理用パソコン	1台
7) 管理用システムソフト	WSS-01 1式

(2) オプション構成 (追加機器)

1) カメラ連動

- a. ネットワークカメラ  
VB - C 3 0 0  
VB - C 5 0 0 D
- b. 録画サーバ
- c. 管理用システムソフト  
W S S - O P - C M J

2) 生体認証 ( B i o ) 連動

a. 生体認証機器

- ・ FacePass ( 東芝製 )  
V U - R 7 1 0 A
- ・ 指静脈装置 (日立情報制御ソリューションズ) A F V - 7 3 0 - T C
- ・ 手のひら静脈装置 (富士通フロンテック製) S G - 2 0 1 0
- ・ 虹彩カメラ ( Panasonic製 )  
B M - E T 2 0 0 A
- ・ 指静脈リーダ (美和ロック製)  
R D F V - S 0 1
- ・ 手の甲静脈認証システム ( SYNCHRO製 )  
V P - S Z

b. バイオリーダ I / F

W U - 1 0

c. V P - S Z 用 I / F

d. 管理用システムソフト

W S S - O P - B i o

3) 電気錠制御ユニット連動

a. CAN/LAN変換装置

W A - B A N

b. 電気錠制御ユニット

N W - U N I

C - U 1 1

c. 電気錠制御ユニット I / F

d. 管理用システムソフト

W S S - O P - U N I

4) 中間DB連動

a. 管理用システムソフト

W S S - O P - M D B

5) 簡易出退勤データ出力ソフト連動

a. 管理用システムソフト

W S S - O P - A L

(3) 電気錠

本装置 1 台ごとに 2 台の電気錠が接続可能である。

接続可能な電気錠を下記に示す。

表．接続可能な電気錠

錠種タイプ	電気錠の種類	メーカー
通電時解錠型 電気錠	ALT/ALTA/AMT/AMTA/AUT/AUTA/ALGT50 EST/ESTP/ELT/ELTP/ESB/ELB/ESM/ELM/EXM/CMT 6210/6220/6110/6120	美和ロック(株) (株)ゴール (合)堀商店
通電時解錠型 電気ストライク	AST 3103	美和ロック(株) (合)堀商店
通電時施錠型 電気錠	ALR/ALRA/AMR/AMRA/ALGR50/AUR/AURA ESR/ELR/ESRP/ELRP/CMR 6212/6222/6112/6122	美和ロック(株) (株)ゴール (合)堀商店
通電時施錠型 電気ストライク	ASR	美和ロック(株)
モータ式電気錠	AL3M/AFF EM/AHEM/SXE	美和ロック(株) (株)ゴール
瞬時通電型 電気錠(有極)	ALA/AUS/ANS/ALG50 EXS/EZS	美和ロック(株) (株)ゴール
瞬時通電型 電気錠(無極)	ALS/AMS	美和ロック(株)
自動扉型	AD	
接点出力型	ADN	

## 2 - 2 . 管理・接続台数

本システムでは出入管理装置、センサ監視盤、エレベータ制御盤を最大合計120台まで接続可能である。ただし、最大ゲート数は1920ゲートとする。

また、電気錠制御ユニットの最大ゲート数は300ゲートとする。

合計2,220ゲート管理することが可能である。

カメラは録画サーバ1台につき最大64台を1セットとして、3セットまで接続可能である。

### ( 1 ) ゲート数

#### 1 ) W - L I N E

最大1920ゲート ( WA-16のみ使用時 )

#### 2 ) N W - U N I

最大300台 ( 300ゲート )

### ( 2 ) 接続台数

#### 1 ) カードリーダー

1ゲートの入室側・退室側にそれぞれ1台ずつ、最大2台まで接続可能である。

### ( 3 ) 管理台数

#### 1 ) サーバ/クライアント

下記a,bのPervasiveデータベースで異なる。

##### a . Work Group

最大5台まで管理可能である。

##### b . Server / Client

最大20台まで管理可能である。

( 負荷試験を行い、管理台数を決めていきます )

### 3 . 出入管理システム

#### 3 - 1 . 連動機能

##### ( 1 ) 標準連動機能

###### 1 ) エレベータ制御盤連動

- ・ リーダを籠外に設置することで、権限をもった人のみがエレベータを呼ぶことが可能である。  
または籠内に設置することで、通行可能な階への操作が可能である。
- ・ 1台で最大35フロアまで設定可能である。

###### 2 ) フラッパーゲート連動

- ・ 解錠時間は00.0 ~ 99.9秒の0.1秒間隔で設定可能である。
- ・ 不正通行を検知し履歴に残すことが可能である。

##### ( 2 ) オプション連動機能

###### 1 ) カメラ連動

- ・ VB-C300/VB-C500D ( Canon製 ) のカメラと連動が可能である。
- ・ カメラは録画サーバ1台につき最大64台を1セットとして、3セットまで接続可能である。  
ただし、録画サーバは最大10台までとする。
- ・ 入退室操作時の履歴映像を録画・再生することが可能である。

###### 2 ) 生体認証 ( バイオ ) 連動

- ・ 6つのバイオ機器と連動が可能である。
  - a . FacePass 「 VU-R710A 」 ( 東芝製 )
  - b . 指静脈装置 「 AFV-730-TC 」 ( 日立情報制御ソリューションズ )
  - c . 手のひら静脈装置 「 SG-2010 」 ( 富士通フロンテック製 )
  - d . 虹彩カメラ 「 BM-ET200A 」 ( 松下製 )
  - e . 指静脈リーダ 「 RDFV-S01 」 ( 美和ロック製 )
  - f . 手の甲静脈認証装置 「 VP- SZ 」 ( SYNCHRO製 )
- ・ バイオ機器 ( a ~ e ) はWU-10を介すことで、1ゲートに最大2台 ( In、OUTに1台ずつ ) まで接続可能である。
- ・ バイオ機器 ( f ) は、VP- SZ用I/Fを介すことで1ゲートに最大2台 ( In、OUTに1台ずつ ) まで接続可能である。

ただし美和ロック製指静脈リーダRDFV-S01は、出入管理装置からの供給電源の関係で1ゲートに最大1台接続可能である。

### 3) 電気錠制御ユニット連動

- ・ 履歴収集、遠隔操作が可能である。
- ・ 連続解錠時間帯設定によりスケジュール管理が可能である。  
曜日・休日・特日(1~8)で15種類の時間帯設定が可能である。
- ・ NW-UNI、C-U11のゲート数は300ゲートまで設定可能である。

### 4) 中間DB連動

- ・ 上位システムと出入管理システムの連動を可能とし、上位システム側で出入管理システムの管理が可能である。
- ・ マスター情報の登録・変更・削除が可能である。
- ・ 履歴情報を取得することが可能である。
- ・ ステータス情報、遠隔操作、データアップロード、死活監視が可能である。

### 5) 簡易出退勤データ出力ソフト連動

- ・ 履歴データから出勤、退勤データだけをテキスト出力することが可能である。  
出力したテキストデータは市販品ソフトの「就業奉行」「弥生会計」で読み込みこむことが可能である。
- ・ CSV形式でテキスト出力が可能である。  
別アプリケーションになる。



### 3 - 2 . 機能

#### ( 1 ) グローバルアンチパスバック機能

- ・ システム全体、特定エリアのみにアンチパス設定が可能である。
- ・ ゲートまたはシステム全体に対して一回の通行のみアンチ制限を無効にすることが可能である。

通信断時は出入管理装置から直接救済処置（解錠操作）を行う必要がある。

#### ( 2 ) ルートチェック機能

- ・ 特定のゲートを通行（通過）しないと、目的のゲートが通れないなどの制限をかけることが可能である。

#### ( 3 ) ツーパーソン機能

- ・ ゲート単位で常に2人照合しなければ入退室ができない制限をかけることが可能である。

または、最初入室、最終退出のみ2人照合でなければならない制限をかけることが可能である。

共連れで部屋に1人残った場合、遠隔操作で救済処置（解錠操作）を行う必要がある。

#### ( 4 ) 顔写真登録機能

##### 1 ) 個人登録画面表示

- ・ 個人編集画面に顔写真(.jpg)を表示することが可能である。

##### 2 ) フェイスデータモニタ表示

- ・ 履歴データ発生時に顔写真を表示することが可能である。
- ・ モニタ画面に最大10件まで表示可能である。

#### ( 5 ) 代替カード登録機能

- ・ 通常使用しているカードを忘れたなどの一時的にカードを紛失した場合、代替カードを登録することが可能である。
- ・ 代替カードを使用したときの履歴は代替カードによるものであることがわかる。
- ・ 報告書で履歴を抽出する時、通常のコードで表示させることが可能である。
- ・ 個人コード設定桁数と同様の桁数を入力可能である。

#### ( 6 ) パスワード機能

##### 1 ) パソリ対応

- ・ ログイン時にパソリを使用することが可能である。

##### 2 ) オペレーション操作ログ

- ・ 管理用システムソフトで「誰が」「いつ」「何をした」という操作ログを残すことが可能である。

## (7) 個人登録機能

### 1) パソリ対応

- ・ 個人コード登録時にパソリを使用することが可能である。
- ・ カードID桁数は、1～20桁まで登録可能である。  
ただし、発行回数2桁と合わせて20桁までとする。
- ・ 個人コードの最大登録可能人数は出入管理装置によって異なる。

a. WA-01/02...5,000名(12桁時)、4,000名(20桁時)

4万名基板実装時は40,000名(12桁時)、30,000名(20桁時)

b. WA-08/16...30,000名(12桁、20桁時)

ただし、出入管理装置を混在して使用する場合は、登録人数が最も少ない装置にあわせる必要がある。

WA-08/16のみ100,000名対応である(製作4.5ヶ月 ハード製作含)

### 2) 発行回数

- ・ 出入管理装置側で発行回数の読取位置を設定することで、発行回数を管理システムソフトに表示することが可能である。
- ・ 発行回数の桁数は2桁設定可能である。

### 3) アップロード機能

- ・ アップロード時に所属や区分の通門デフォルト値が自動で設定することが可能である。

### 4) 一括抹消

- ・ 複数の個人コードを選択し、削除または消去することが可能である。
- ・ 選択件数は個人登録されている件数分選択可能である。

### 5) 通門コード変更

- ・ 複数の個人コードを選択し、通門コードを変更することが可能である。
- ・ 選択件数は個人または所属登録されている件数分選択可能である。

### 6) 個人コード利用開始日

- ・ 個人コード登録を前もって登録し、指定日に自動送信することが可能である。

## (8) 自動アップロード機能

### 1) 一日一回

- ・ 一日一回指定した時間に自動アップロードすることが可能である。

### 2) リアルタイム

- ・ リアルタイムで自動アップロードすることが可能である。
- ・ 自動アップロードデータファイルの読み込み間隔は、1分間隔で1～10分まで設定可能である。

- ( 9 ) エラーログ機能
  - 1 ) エラーブザー選択
    - ・ 鳴動させるエラーを選択することが可能である。
    - ・ エラーブザーの選択件数はエラー項目数分選択可能である。
  - 2 ) エラーポップアップ選択
    - ・ エラー発生時、パソコン画面にポップアップを表示させることが可能である。
    - ・ ポップアップするエラーを選択することが可能である。
    - ・ ポップアップ件数は0～50件選択可能である。
  - 3 ) マップデータモニタ
    - ・ マップステータスとデータモニタまたはエラーモニタを画面に表示させることが可能である。
- ( 10 ) データ参照・登録フィルター機能
  - ・ 各クライアントパソコンから閲覧/登録できるデータに制限をかけることが可能である。
- ( 11 ) アクティブディレクトリ ( AD ) 連携機能
  - ・ 入退室時にADサーバに対してパソコンの利用許可/不許可を問合せすることが可能である。
- ( 12 ) 印刷・ファイル出力機能
  - ・ 印刷やデータ出力時に複数の所属/区分を選択することが可能である。
  - ・ 選択件数は、所属200件、区分200件まで選択可能である。
- ( 13 ) アイコン変更機能
  - ・ アイコンのイメージを変更することが可能である。
- ( 14 ) 入退室制限時間帯機能
  - ・ 入退室する時間帯に制限をかけることが可能である。  
通門コード別に曜日・休日・特日 ( 1 ~ 8 ) で3種類の時間帯設定が可能である。
- ( 15 ) 連続解錠時間帯機能
  - ・ 連続解錠する時間帯を設定することが可能である。  
曜日・休日・特日 ( 1 ~ 8 ) で15種類の時間帯設定が可能である。
- ( 16 ) ゲート管理機能
  - ・ ゲートごとに連続解錠時間帯の設定を100通り行うことが可能である。
- ( 17 ) 履歴データの管理機能
  - ・ 履歴データの条件 ( 日付・ゲート・カード・データ内容等 ) を設定し抽出することが可能である。  
抽出したデータは印刷およびテキストデータによるデータ出力を行うことが可能である。

- ・ 履歴データの保存件数はハードディスクの容量に依存する。  
履歴データ10万件で200MB程度必要となる。  
出入管理装置には履歴データを最大6,000件まで保存することが可能である。  
最大保存件数を超えた場合は、古いデータから消去し、最新の6,000件が保存される。

( 1 8 ) 履歴データの表示機能

- ・ 各ゲートの操作履歴を30件までリアルタイムに表示することが可能である。

( 1 9 ) 在室者の管理機能

- ・ 入退室の管理にて部屋ごとに誰が在室しているのかを表示することが可能である。
- ・ 在室状態を更新する間隔を指定しリアルタイムで表示することが可能である。

( 2 0 ) 在室時間管理機能

- ・ 履歴データから個人の在室時間を抽出/集計することが可能である。  
抽出/集計に時間がかかる場合がある（パソコンスペックにも左右される）。

( 2 1 ) 状態表示機能

- ・ 各ゲートの状態をリアルタイムで表示可能である。
- ・ 各ゲートの遠隔操作が可能である。

( 2 2 ) マップ情報機能

- ・ ゲート、センサ、カメラの状態をマップ上に表示することが可能である。

( 2 3 ) システム設定

1 ) 操作履歴報告書

- ・ ( 6 ) のログを操作履歴報告書に表示することが可能である。
- ・ 操作ログ報告書には最大50件まで表示可能である。

2 ) 休日設定

- ・ 休日の設定をすることが可能である。

3 ) 時刻設定

- ・ 出入管理装置の時刻設定をすることが可能である。

4 ) 履歴データのバックアップ

- ・ 履歴データのバックアップをとることが可能である。

5 ) データの一斉送信

- ・ 個人データを一斉送信することが可能である。
- ・ 連続解錠時間帯設定を送信することが可能である。

6 ) アンチパスフリー

- ・ アンチパスを個人またはシステム全体で1回だけフリーにすることが可能である。

## 4．将来対応

### 4 - 1．連動機能

- ( 1 ) キーホールドボックスと連動可能である。
- ( 2 ) パソコン側から装置設定の変更を行うことが可能である( 別アプリケーションで検討中 )

### 4 - 2．管理機能

- ( 1 ) 個人の登録時に備考( メモ ) 欄にメモすることで、データ出力時に表示可能である。
- ( 2 ) 未送信データを選択し、一括送信することが可能である。
- ( 3 ) 設定日数使用されていない未使用カードの抽出が可能である。
- ( 4 ) 機器異常が発生した場合、一定時間自動的にアンチフリーにすることが可能である。
- ( 5 ) Nsをリーダーとして接続可能である。

## 5 . 外部機器との連動

出入管理装置には以下に示す入出力を有しており、火災報知器や警備機器等の外部機器との連動が可能である。

### ( 1 ) 外部入力

#### 1 ) 一回解錠入力

ワンショットメイク時に電気錠が一回解錠動作を行う。

#### 2 ) 連続解錠入力

入力がメイク状態中に、電気錠が連続解錠状態となる。

#### 3 ) ループ入力

入力状態によってゲートの警備状態を判定する。

メイク状態の場合は「正常」、ブレイク状態の場合は「異常」と判断する。

#### 4 ) 読取禁止入力

入力がメイク状態中に、リーダの操作が不可となる。

#### 5 ) 一斉解錠入力

入力がメイク状態を維持している間、全ての電気錠が連続解錠状態となる。

### ( 2 ) 外部出力

#### 1 ) 自動扉出力

解錠状態中に接点がメイクする。

#### 2 ) 解錠出力

電気錠が解錠状態中に接点がメイクする。

#### 3 ) 開扉出力

電気錠が開扉状態中に接点がメイクする。

#### 4 ) 警報出力

警報発生中に接点がメイクする。

#### 5 ) 警備セット出力

警備セット状態中に接点がメイクする。

#### 6 ) 警備発報出力

警備発報中に接点がメイクする。

#### 7 ) 一斉解錠出力

一斉解錠入力がメイク中に接点がメイクする。

## 6. 個人コードレイアウト

項目	桁数	備考	必須
送信状態	1桁 + カンマ	0 送信済 1 未送信	
登録状態	1桁 + カンマ	0 登録カード 1 削除カード	
個人コード (個人コード+ 発行回数)	20桁 + カンマ	指定桁数に満たない場合は、スペースを設定	
管理番号	20桁 + カンマ	指定桁数に満たない場合は、スペースを設定	
テナントコード	3桁 + カンマ	テナントなしの場合は、スペースを設定	
所属コード	10桁 + カンマ	指定桁数に満たない場合は、スペースを設定	
区分コード	10桁 + カンマ	指定桁数に満たない場合は、スペースを設定	
氏名	20桁 + カンマ	全角文字の場合10文字	
カタカナ	20桁 + カンマ	半角カナ20文字	
テンキー暗証番号	4桁 + カンマ	デフォルト値 0000	
バイオID	8桁 + カンマ	半角数字 8桁	
利用開始日	8桁 + カンマ	西暦 4桁 月 2桁 日 2桁	
有効期限	8桁 + カンマ	西暦 4桁 月 2桁 日 2桁	
初期登録日	14桁 + カンマ	西暦 4桁 月 2桁 日 2桁 時 2桁 分 2桁 秒 2桁	
更新日	14桁 + カンマ	西暦 4桁 月 2桁 日 2桁 時 2桁 分 2桁 秒 2桁	
代替コード	20桁 + カンマ	代替フラグがありの場合のみ入力可	
代替コード有効期限	8桁 + カンマ	代替フラグがありの場合のみ入力可 西暦 4桁 月 2桁 日 2桁	
ドメインネーム	20桁 + カンマ	半角英数字、記号(. ドット)のみ入力可	
リーダ禁止時動作	1桁 + カンマ	0 禁止時OK 1 禁止時NG	
アンチパスチェックの有無	1桁 + カンマ	0 :チェック無し 1 :チェック有り	
警備解除許可	1桁 + カンマ	0 解除OK 1 解除NG	
監視カードの対象指定	1桁 + カンマ	0 監視なし 1 監視対象	
ゲート通門コード1	256桁 + カンマ	0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード2	256桁 + カンマ	ゲート数が256を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード3	256桁 + カンマ	ゲート数が512を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード4	256桁 + カンマ	ゲート数が768を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード5	256桁 + カンマ	ゲート数が1024を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード6	256桁 + カンマ	ゲート数が1280を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード7	256桁 + カンマ	ゲート数が1536を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード8	256桁 + カンマ	ゲート数が1792を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	
ゲート通門コード9	128桁	ゲート数が1920を超えた場合に使用 0~9 or C (通門不可)	

- (1)       はデフォルト値
- (2)送信状態を入力せずにアップロードした場合、未送信で登録される。
- (3)所属と区分を入力せずにアップロードした場合、ZZZと登録される。
- (4)初期登録日、更新日が未入力の場合はアップロード日時に登録される。
- (5)利用開始日が未入力の場合は99999999と登録される。
- (6)有効期限が未入力の場合は99999999と登録される。
- (7)ゲート数が256を超えた場合はカンマ区切りの後に256桁加える。



## 7. 動作環境

### 7-1. 管理用サーバ

管理用パソコンの推奨スペックとなる。

(1) 対応OS	Microsoft® Windows® 2003Server	SP2以降
(2) 本体	PC/AT互換機で対応OSが動作するコンピュータ	
(3) CPU	Intel® Core2Duo 2.2GHz以上	
(4) メモリ	2GB 以上	
(5) ハードディスク	10GB 以上	
(6) LANポート	100BASE-TX/10BASE-T対応	
(7) USBポート	USB 1ポート使用	1
(8) モニタ	TFT17型 1280×1024ドット以上	2
(9) バックアップ媒体	640MB以上の光磁気ディスク	
(10) プリンタ	A4横の印字対応レーザープリンタ	3

(9)・(10)はデータの保存や印刷に関わる内容ですので、用意しない場合でも運用に影響はない。必要に応じて用意する。

- 1 コピーガードモジュールを接続する。これにより不正な使用を制限することが可能である。接続されていない場合、通信・印刷およびテキストデータ出力が行えない。
- 2 CRTディスプレイ対応可である。
- 3 一部のドットプリンタ/インクジェットプリンタには対応していない。

## 7 - 2 . 管理用パソコン

収集用パソコンの推奨スペックとなる。

( 1 ) 対応OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional	SP4以降
	Microsoft® Windows® XP Professional/Home	SP2以降
	Microsoft® Windows® Vista	SP2以降
( 2 ) 本体	PC/AT互換機で対応OSが動作するコンピュータ	
( 3 ) CPU	Intel® Core2Duo 1.8GHz以上	1
( 4 ) メモリ	1 GB 以上	2
( 5 ) ハードディスク	10GB 以上	3
( 6 ) LANポート	100BASE-TX/10BASE-T対応	
( 7 ) USBポート	USB 1ポート使用	4
( 8 ) モニタ	TFT17型 1024 × 768ドット以上	5
( 9 ) バックアップ媒体	640MB以上の光磁気ディスク	
( 10 ) プリンタ	A4横の印字対応レーザープリンタ	6

( 9 )・( 10 ) はデータの保存や印刷に関わる内容ですので、用意しない場合でも運用に影響はない。必要に応じて用意する。

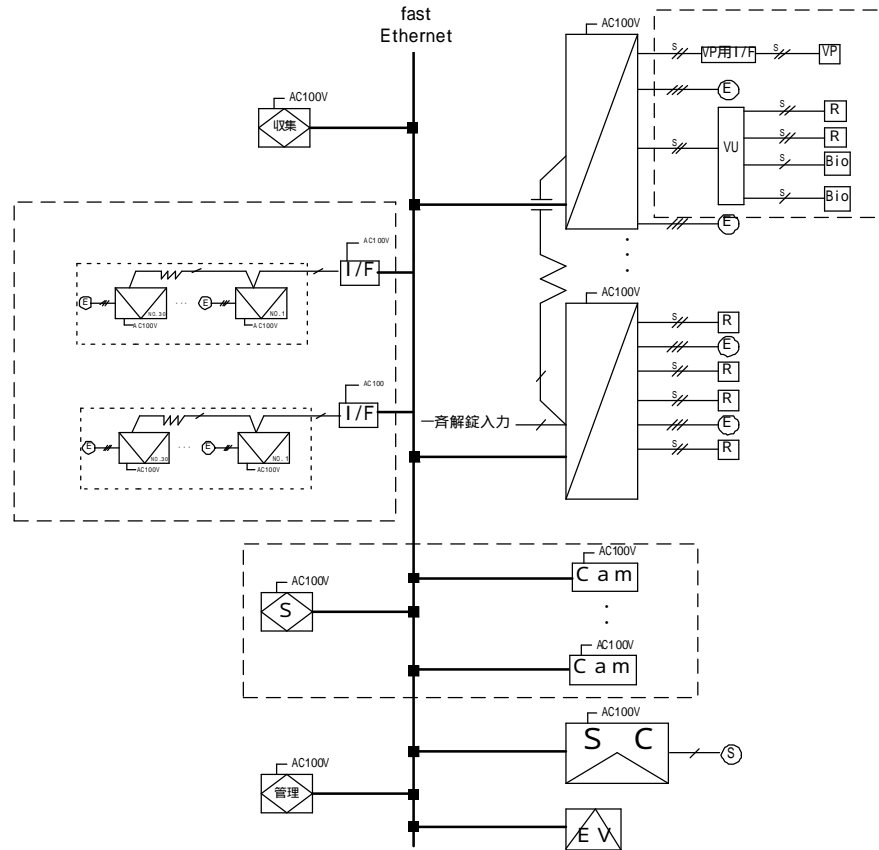
- 1 OSがVistaの場合、CPU 2 GHz以上が必要である。
- 2 OSがVistaの場合、メモリ 2 GB以上必要である。
- 3 OSがVistaの場合、40GB以上のHDDに15GB以上の空き容量が必要である。
- 4 コピーガードモジュールを接続する。これにより不正な使用を制限することが可能である。接続されていない場合、通信・印刷およびテキストデータ出力が行えない。
- 5 CRTディスプレイ対応可である。
- 6 一部のドットプリンタ/インクジェットプリンタには対応していない。

## 7 - 3 . 録画サーバ

キヤノン株式会社製 Network VideoRecorderの仕様書、またはカタログをご参照。

## 8 . 系統図

### 8 - 1 . LAN系統図



- 凡 例 -

管理用パソコン	収集用パソコン	録画サーバ	KPEVS 0.75-2P	
出入管理装置	電気錠制御ユニット I/F	ネットワークカメラ	KPEVS 0.75-1P	FacePass (東芝製)
電気錠制御ユニット	エレベータ制御盤	フラッパーゲート	KPEVS 0.75-2P	手のひら静脈装置 (富士通)
センサ監視盤	バイオリーダー I/F	手の甲静脈認証システム	KPEVS 0.75-1P	指静脈装置 (日立製)
Bio	VP-SZ用 I/F ユニット	カードリーダー	CPEV 0.9-1P	虹彩カメラ (Panasonic製)
FacePass (東芝製)	VU バイオリーダー I/F		CPEV 0.9-3P	指静脈リーダー (美和ロック製)
手のひら静脈装置 (富士通)	VP 手の甲静脈認証システム		UTP ( 5 )	
指静脈装置 (日立製)			USB	
虹彩カメラ (Panasonic製)			H U B	
指静脈リーダー (美和ロック製)			電気錠	
			センサ	

点線枠内はオプションになります。

CAN / LAN変換装置は10台まで接続可能である。

電気錠制御ユニットを最大300台まで接続することが可能である。

出入管理装置、センサ監視盤、エレベータ制御盤は合計120台まで接続可能である。

## 9 . 改定履歴

図番	内容	備考
S06014-01-09325	初版	

- ・ A R T ロゴは、株式会社アートの登録商標である。
  - ・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標また商標である。
  - ・ Intel、Pentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標である。
- その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標である。